

起業支援ファンド

「みやこ京大イノベーション3号投資事業有限責任組合」

に出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構（理事長：豊永厚志 本部：東京都港区）は、ファンド出資事業（起業支援ファンド）において、みやこ CM3 有限責任事業組合を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に対し、中小機構出資分として最大 50 億円を出資することで合意し、組合契約を締結いたしました。

『みやこ京大イノベーション3号投資事業有限責任組合』（以下、「本組合」）は、主に京都大学関連をはじめ、京阪神その他首都圏外エリアを拠点とする産学連携ベンチャー企業への投資・育成を行い、地方のスタートアップ・エコシステムの発展への貢献を目指すファンドです。

本組合は引き続き出資者の募集を行うことで、総額約 200 億円のファンド規模とすることを目標としております。

引き続き中小機構では、全国9カ所の地域本部等が有する支援ツール等を最大限に活用しながら、中小企業を支援して参ります。

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

中小機構は、事業の自律的発展や継続を目指す中小・小規模事業者・ベンチャー企業のイノベーションや地域経済の活性化を促進し、我が国経済の発展に貢献することを目的とする政策実施機関です。経営環境の変化に対応し持続的成長を目指す中小企業等の経営課題の解決に向け、直接的な伴走型支援、人材の育成、共済制度の運営、資金面での各種支援やビジネスチャンスの提供を行うとともに、関係する中小企業支援機関の支援力の向上に協力します。

<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

ファンド事業部 ファンド事業課（担当者：松野、林）

住所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

電話：03-5470-1673（ダイヤルイン）

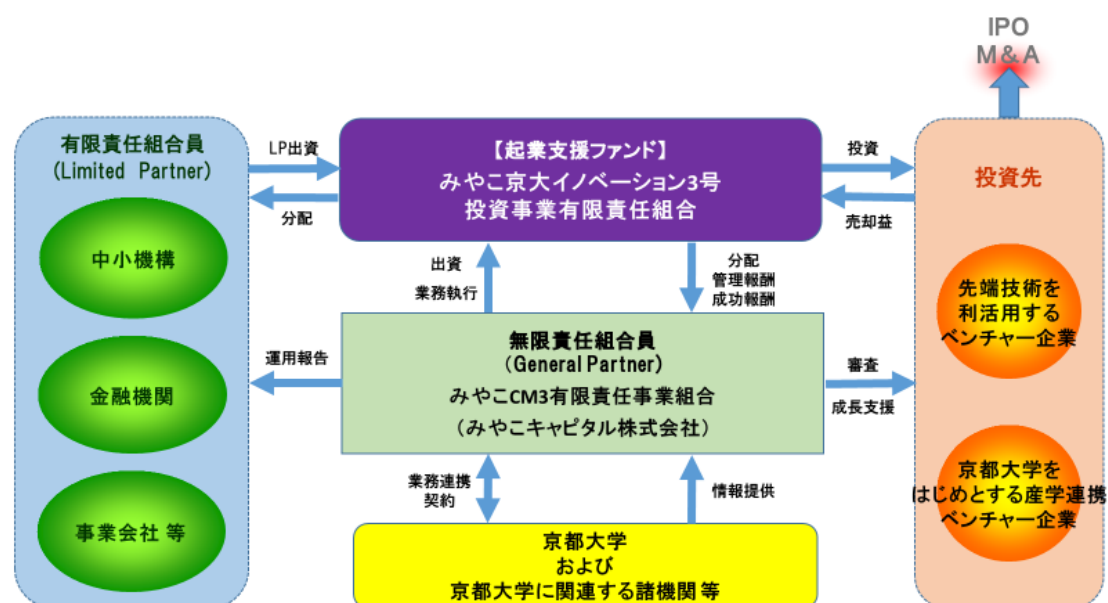
◆「みやこ京大イノベーション3号投資事業有限責任組合」の概要

「みやこ京大イノベーション3号投資事業有限責任組合」は、みやこCM3有限責任事業組合（本社：京都府京都市）を無限責任組合員として設立された投資ファンドです。

みやこCM3有限責任事業組合は、みやこキャピタル株式会社（代表取締役社長：岡橋寛明 本社：京都府京都市）、岡橋寛明氏、山口哲史氏、菅谷常三郎氏、三澤宏之氏を組合員とする上記ファンドの運営事業体です。

みやこキャピタル株式会社は、平成25年9月に設立された民間の独立系ベンチャーキャピタルであり、同年12月、令和元年12月、令和5年3月に国立大学法人京都大学との間で「京大連携ファンド」の運営事業者としての契約を締結しその産学連携の協力関係に基づき、京都、東京及び米国シリコンバレーを拠点に、革新的な技術シーズやビジネスモデルに基づきグローバル展開を目指す国内外のベンチャー企業に対する投資とハンズオン支援を行っております。

<スキーム図>



<制度の内容及び実績について>

起業支援ファンドについて

https://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_01.pdf

中小機構ファンド事業出資実績

https://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_04.pdf